

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元
佐野市教育センター
佐野市上羽田町 1134 番地 1
電話 20-3108
20-3048(相談専用)

入学式から 2 か月が過ぎ、新入生も学校生活に慣れてきた頃。小学校や義務教育学校前期課程では、1 年生での 1 人 1 台端末の活用が徐々に始まりました。初めて触れる端末にドキドキしながらも、新たな学びに期待を膨らませている児童も多いことと思います。

1 人 1 台端末を活用し始めるにあたって、クリアすべき「壁」は、たくさんあります。端末の安全な持ち運び方、電源の入れ方や切り方、アカウントやパスワードの入力……。あそ野学園の第 1 学年では、様々な工夫を行うことで、子供たちの 1 人 1 台端末活用がスムーズにスタートしました。今回は、その取組を紹介いたします。

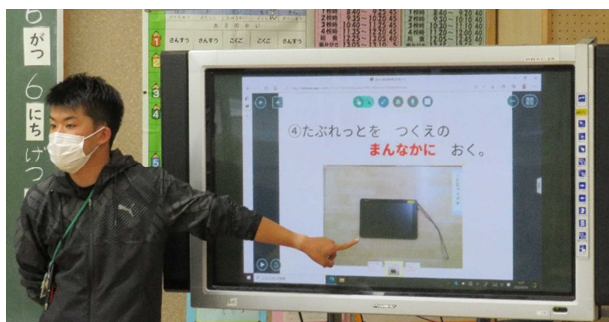
『指導の共通化と教材の共有化で 1 年生の端末活用導入をスムーズに』

(あそ野学園義務教育学校での実践)

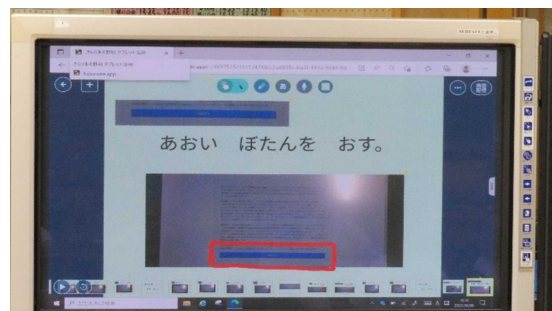
◇ 3 学級で指導を合わせ、児童の端末活用を一斉にスタート

第 1 学年の先生方は、端末活用の指導は使い始めにしっかりと行うことが大切と考え、初めての端末活用授業を 3 学級が同じ日に、同じ教材を使って、同じ学習過程で行いました。このことにより、どの学級の児童も、端末の扱い方や操作スキルがそろった状態で一斉に端末活用をスタートさせることができました。

教材となる説明用スライドは 2 名の若手の先生が中心となって作成し、学年主任の助言のもと指導過程を考えました。学年がチームとなって授業づくりを行うことで、若い先生とベテランの先生が互いに学び合う機会にもなりました。

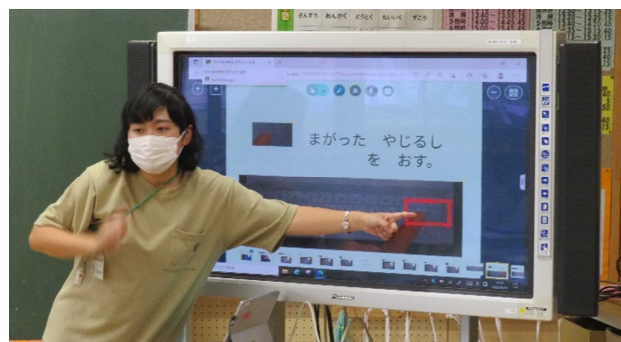


◇ 難しい初期設定を「見える化」し、1 年生でも自力で行う



初めて端末を使う 1 年生に初期設定の仕方を教えるのは、なかなか大変な作業です。そこで、時間内に全ての児童が初期設定を完了できるようにするための工夫として、初期設定の「見える化」を行っていました。活用に当たってのきまりや初期設定の操作などを、写真や言葉、強調線や囲みを使って手順ごとに一枚ずつスライドにまとめ、それを電子黒板に投影しながら担任が説明をしました。

スライドを作成した教諭は、「1 年生には視覚で訴えることが効果的。初期設定の手順を写真と言葉で説明することで、ひらがなをまだ読めない児童にも分かりやすいように工夫しました。」とスライド作成の意図を話してくださいました。



このような工夫により、最も難しいと思われたアカウントやパスワードの入力も、子供たちは自力で行うことができました。どの学級も全員の児童がログインを完了！子供たちは達成感でとても嬉しそうでした。

～教育の力で佐野市を元気に～ 佐野市教育センターは皆さんの「やる気」と「不安」に応えます。